

# J 伝言板

2005. 2nd 特集号



## 男女共、初制覇！パンゲア&シャーマン

男女共に、パンゲアとシャーマン両チームが予選から決勝まで負け無しのパーフェクトゲームで2005年度2ndステージを制覇した！（初の試みとして男子の部をトップページにしました。）

男子の部では、秋桜の制覇が確実視されていたが、プロ選手（SSK）の出場は違反との大会本部決定で、俄然混戦模様となり、戦前の予想を完全に覆し、シャーマンが悲願の初制覇を成し遂げた。

（尚、SSKは今大会（男子の部）無効の仮処分申請を園田弁護士を通し地方裁判所に提出した。）  
SSK「何故、今の時代にプロの出場を禁止するのか理解に苦しむ。オリンピックや世界選手権でも認めているのに・・・（怒）！会長は頭が固すぎるよ！」

出川ヒロミツ「そうですよ！頭が固すぎる！だから頭皮も硬くなって最近ではアレでしょー？」  
会長「いらん世話タイ！プロが出たら勝つに決つてとるでしょうが・・・！そんなら面白～なかでっしょが。アンタも出川って言われんごつ、パチンコばっかせんで真面目になんなっせ！」

SSK「私は、いかにレベルの差がありすぎとはいっても、ミニバレーの技術向上のため最高裁までも戦いますヨ！ところで、今回のシャーマン優勝の立役者は、ズバリ永松でしょう！昨年からの大病で、奥さんは葬儀の段取りまでしてたそうじゃないですか？その大病をおしての出場ですから立派ですよ。くせ者石田加入も大きいですが、マンちゃん&アホの坂田三吉の強力アタッカーを上手くリードしてました。これがミツだったら・・・ですよね？リード重視で打たなかったことが最大の勝因といえるでしょうネ。」



永松「ありがとうございます。常々SSKプロのプレーを拝見して勉強してました。今回は先生が出場しなかったから優勝させてもらいましたが、やはりプロの技術と頭脳に半歩でも近づこうと懸命に努力した成果だと思えます。この優勝をSSKプロに捧げたいと思えます。」



### 2005.2ndステージ男子の部優勝

#### シャーマン

中央の強面が、死相漂う「永松」  
後方左から  
ミツ アホの坂田 石田 まんちゃん

陰のMVPは、永松！

MVPは、アホの坂田三吉に決定！

若鷹賞を手にし、「小学校の運動会で回りがコケて優勝し、その時の賞品（消しゴム付鉛筆）を今でも宝物にしてましたが、こんな立派な鷹をいただいて・・・家宝にします！（笑顔）」

女子の部（J-1）は、万年2位のパンゲアが初制覇！2年連続の年間チャンピオンも出てきたが1st制覇のNOELも僅か4ポイント差で追い、3rdステージまでもつれ込む模様である。今回、飛躍的に躍進したのはサイエンス！なみいる強豪を倒し3位に食い込んだのは立派！

毎回優勝候補の筆頭にあげられながら、僅かなところで栄冠を逃し続けてきたパンゲアが、悲願の優勝を全勝で果たした。特に優勝を決定付けた場面は、対NOEL 14対12からの1点。誰もライトからエース月田がアタックを打つものと思っていたその時、セッター大久保からの絶妙なトスをセンターに切れ込んできた東矢で1点もぎ取った局面である。この1点は大きく、「勝負有り」という感じがした。今までの不動の四人にアタッカー斉藤を入れた布陣に多少の不安があったが、攻撃力重視の作戦が功を奏したようだ。斉藤の成長で、月田、東矢の負担も減じ多彩な攻撃ができるようになったのも勝因かもしれないが、相手の攻撃パターンを読み、5人でその時の最適なメンバー編成を組めるのが最大の強みであろう。今回のパンゲア、NOEL共にメンバーが「大人」（性格は？）という印象を持った。メンバーそれぞれが、「どのように戦ったら勝てるのか？勝つためのチーム編成はどうしたらいいのか？」ということをよく理解し、控えに回ったら懸命に応援する。この姿勢ほど大事なものはないとあらためて再確認させられた。NOELの千場、パンゲアの黒木、清田。ゲームこそ出なかったが、コートの中で選手と共に戦っているように映るのは私だけではないと思う。それこそ「チーム愛」ではなかろうか。素晴らしい両チームに賞賛の拍手を送りたい。（注釈：パンゲアの清田は、会長の娘じゃなく婚約者です??パンキョ「迷惑です！」）



## 2005.2nd ステージ女子の部（J-1）

### チーム パンゲア

私が大久保です。後方左より東矢。森永。斉藤。月田。前方左から清田。黒木です！皆、優しい素敵な笑顔でしょー？

SSK「ピンクなんて女子高生が着るものばかり思っていたんですが・・・？ジェネレーションギャップを感じました。年齢はともかく、とても似合ってますよ！」出川ヒロミツ「・・・??」

今回目に付いたのは、初のAリーグ入りを果たしたサイエンスとアイリッシュ。

3位に食い込んだサイエンスは、永田、野田のコンビがヤクルトジャンプから脱し、牛乳瓶（小）ジャンプでいいスパイクを打てるようになった。タイミングがずれたアタックを打つのでレシーブもし辛い。

森田も小兵ながらも攻守に活躍し、勝利に貢献した。（ナイスレシーブが何本もありました。）

ぼっぷこ〜んの名和と並ぶ大会最高齢者？（もうすぐ赤いチャンチャンコがよく似合う）橋本も老体に鞭打ちトス、ブロックに年齢を感じさせないプレーでチーム勝利に貢献した。なによりも明るく楽しくミニバレーをする姿勢は素晴らしいものがある。奇跡の3位と言われない様、次回も頑張っって欲しい。

SSK「いつも何かといただき感謝しています。けなしてばかりいないで、たまには褒めてよ！って言われましたので・・・今回は最大級のヨイショをさせていただきました。」

アイリッシュは、私の予想通り上位に食い込みました。6位ながらウイング、ラピスと同率。得失点差で順位を落としたのは残念なことです、Aリーグ入りは立派！

ここは、2-2制を採用しそれぞれの持ち味を十分発揮できるように安芸の○田口（今後面倒なので安芸姉さんでいきます。）がよくまとめている。このまとまりこそが上位進出に表れたと思う。

アタッカーばかりでは試合に勝てないという、いい見本ではないだろうか。サ〜ア！これからが勝負。

次回での更なる躍進を期待したい。



## 2位のNOEL！！

「ミニバレーの申し子、柴田&山下コンビを軸に、不恰好なレシーブながら確実に拾う原〇&堀〇の速攻コンビも一級品の働きができるようになりました。また、オールラウンダー東の存在も貴重。ナント言ってもチームに安心感をもたらす千場の存在に注目！このチームワークこそ昇格、即優勝、そして今回の2位の快挙につながったんでしょうね！ゴタゴタしているチームも手本にして欲しいものです。」 By SSK



## 堂々の3位 サイエンス！！

橋本「欲しがりません勝つまでは！と戦時中に教わった精神で80歳迄頑張りますワヨ！」  
野田「3位の盾を抱いて今晚寝ますでチュ！」  
トモちゃん「山椒は小粒でピリリと辛い！ですわヨ。もっと技に磨きをかけますヨ。」  
永田「夢みたいでチュ！ペットボトルジャンプを目指しまチュ！バックスあげまチュネ！」  
SSK「4人の力が一つになり、スゴイパワーになったんですね！」



## 初のAリーグ入りした「アイリッシュ」

SSK「元、二子山部屋のいぶし銀、安芸の島と同様ミニバレー界のいぶし銀的存在の田口美鈴ということを書いたかったのですが、ご本人は、顔が似ていると勝手に解釈されてたようです。いぶし銀ですヨ！」

出川ヒロミツ

「な～るほど！でも似てる！！」

4位ウイング、5位ラピス共に、風格が出てきて「Aリーグの顔」になってきたような感じがする。ウイングは個々の才能は優れていると思うが、もっと適正適所というか、個々の力が十分発揮できるようなポジショニングを工夫することが必要かも？速攻中心の福重をオープンでも使えるようにすれば、攻撃の幅も広がり、もっともっと強くなると思う。セッター鶴野以外に打てるセッター育成が課題？ラピスは、バックセンの強化に努めるべきだと思う。サーブカットが雑に見える。サーブカットがキチンと上がりさえすれば、セッター甲斐が生き、それこそ多彩な攻撃ができると思う。近い将来、今の2強を倒し、この両チームで優勝を争うことを期待したい。

【朗報】 6月未明、四国の香川県で行われたソフトバレー全国大会において、我々の仲間D.N.Aが、女子〇〇歳以上予選2位グループの部において堂々の優勝を果たしました！オメデトー！  
会長「早く言ってくれりゃー数千万円の寄付が集まったのに・・・ザンネン！」